

第5学年1・2・3・4組 「総合的な学習の時間」活動案

指導者 中島 亜希
谷澤 伸英
加地 盛一郎
吉谷 良子

1. 日時・場所 平成23年11月16日(水) 5校時 5年生各教室

2. 単元名 伝統を受け継ぎ伝えよう

3. 単元目標

- 日本の伝統文化に関心を持ち、自分なりの課題をもって進んで調べ、学習に取り組もうとする。
- 日本の伝統文化について調べたことを友だちと協力しながらまとめ、発表することができる。
- 様々な情報の中から必要な情報を選択し、わかりやすく伝えることができる。
- 日本の伝統文化に対する視野を広げ、見方や考え方を深めることができる。

4. 評価規準

	他者や地域とのかかわり に関する事	学習方法に関する事		自分自身に関する 事
	かかわる力	課題を見出し、解決する力	まとめ・表現する力	自己を振り返る力
評価規準	①ゲストティーチャーの話や体験学習に関心を持ち、日本の伝統文化のよさについて、自分なりの考えをもてる。 ②調べたことをもとに、わかったことや考えたことについて、友だちと意見交流をしようとする。 ③様々な人とかかわりや友だちとの話し合い活動を通して日本の伝統文化のよさについて考えを深めたり見直したりしようとする。	①和太鼓の経験をもとに、日本の伝統文化について詳しく調べたいことを見つけようとする。 ②友だちと協力しながら、課題について適切な方法で調べることができる。 ③集めた情報を友だちと整理したり比較したりしながら、考えを深めることができる。	①自分たちが伝えたことを適切な方法で伝えることができる。 ②調べたことや考えたことなどを、伝えたい相手に応じたまとめ方や表現でわかりやすく伝えることができる。	①ゲストティーチャーや友だちから学んだことを生かし、日本の伝統文化に対する視野を広げ、自分自身の見方や考え方を深めようとする。

5. 単元について

(1) 学年の実態とめざす子どもの姿について

①学年の実態

支援級の児童を含め132名の学年である。全体的にはのびのびとしていて明るく、様々な課題に対しても真剣に取り組む児童が多い。休み時間には外で元気よく遊ぶ児童が多いが、絵を描いたり本を読んだりして教室で過ごす児童もいる。

今までの総合的な学習の時間では、4月から育てている米について、一人一人が課題を持って調べ、9月にクラスで発表会をした。調べていく過程で米についていろいろなことがわかり、発表で互いに共有したことによって、今まで知らなかったことにも視野が広がり、日本人と米の深いかかわりを学ぶことにつながった。この学習を生かして、本単元においても、日本の伝統文化について自分なりの課題をもち、解決し、考えを深めていってほしいと思う。

タブレットPCに関しては、夏休み前に教室で使用する環境が整い、今までに総合・理科・社会・図工の授業で使用してきた。主に、調べ学習、ドリル的なコンテンツによる既習事項の確認、動画や静止画の撮影といった用途で使用した。本単元での調べ学習でもタブレットPCを活用することで、教室で様々な情報にふれ、取捨選択をしながら、分かりやすい発表につながる学習活動ができるのではないかと考えている。

②めざす子どもの姿

本単元は、地域で日本の伝統文化を支え、活躍されている方々と身近にかかわることのできる貴重な機会である。この機会に日本の伝統文化に興味をもち、進んでかかわろうとする気持ちを育てたい。

また、学習活動を通して、日本の伝統文化を大切にしている人の思いを自分なりに感じ、そのよさを素直に認める心を育てていきたい。

ゲストティーチャーや友だちから学んだことを生かし、日本の伝統文化に対する視野を広げ、日本の伝統文化のよさを発信できるようになってほしいと考えている。

(2) 単元設定の理由

本校では、「運動会」「6年生を送る会」「1年生を迎える会」などの大きな学校行事で児童が「ぼんぼこ太鼓」を演奏する伝統がある。5年生は、夏休み前に6年生から「ぼんぼこ太鼓」の引き継ぎを受け、12月のハートフルステージ南ゆり（学習発表会）で、初めて全校児童に披露する予定である。

地域の方々と伝統文化をテーマとして交流していくこの単元は、本校の5年生にふさわしい課題であると考えている。本校の伝統であり身近な存在でもある「ぼんぼこ太鼓」という和太鼓の演奏をきっかけにして、児童がより幅広く日本の伝統文化に目を向けられるようになってほしい。

実際に地域で活躍されている方々を講師に迎え、2日間の日程で「琴、尺八、三味線、日本舞踊、長唄」の体験学習を行う予定である。体験学習にあたっては、それぞれの歴史、道具の名前、由来、地域性などについて知りたいことを出し合い、課題をもって臨むことにした。そうすることで体験が児童にとってより学びの多いものになると考えている。

そして、体験学習の経験もふまえて、学んだことを発表し、日本の伝統文化のよさを発信できるようにしていく予定である。

こうした活動から児童が自分の地域のよさに気づき、地域への誇りと愛着をはぐくみ、地域の人とのかかわりを深めていってほしいと考えている。

6. 研究テーマとの関わり

研究テーマ

「自ら学ぶ力と豊かな心を育てる情報教育をめざして」
ーメディア活用で育てる情報活用能力, メディア活用で伸ばす確かな学力ー

○情報教育から見たタブレットコンピュータの可能性

今回の授業研究会では、子どもたち1人1人がタブレットコンピュータを持っているということを前提に、授業を組み立てている。このような恵まれた環境で研究授業を行うことは、私たち情報教育研究会としても初の試みである。

最近ではタブレットコンピュータやスマートフォンの利用者が急激に増えているという。タッチパネルを使った直感的な操作性や豊富なアプリケーションなどが人気の秘密であるとされている。今回の授業では、情報活用の実践力を育てる授業作りという視点から、タブレットコンピュータの可能性を検証していきたいと考えている。

○情報の収集・整理・分析のためのタブレットコンピュータ

子どもたちの調べ学習では、図書資料に加えて、インターネットを活用することが、一般的になってきた。今年度より全面実施となった学習指導要領においても、次のような記入が見られる。

第3 指導計画の作成と内容の取扱い

1 指導計画の作成に当たっては、次の事項に配慮するものとする。

(3) 学校図書館や公共図書館、コンピュータなどを活用して、資料の収集・活用・整理などを行うようにすること。
(小学校学習指導要領解説 社会編)

通常、コンピュータを活用する場合は、コンピュータ室などの特別教室に移動して学習を進めなければならない。しかし、タブレットコンピュータが手元があれば、いつもの教室環境の中で学習することができたり、情報を共有したりすることができるという大きなメリットが生まれるのである。また、上でも述べたとおり、タブレットコンピュータの直感的な操作性は、子どもの思考の妨げにならず安心して学習に取り組むことができるというよさを持っている。

○情報活用の実践力を育てる授業作り

タブレットコンピュータはキーボードを備えていないという性質上、情報を編集したり、加工したりすることは、あまり得意ではない。情報を発信するという段階においては、タブレットコンピュータとか模造紙とかというメディアの違いよりも、子どもたちが何を伝えたいかということが大切になると考えている。

本時では子どもたちがタブレットコンピュータ等で調べ、そしてミニ発表会を行う。しかし、これは本時だけではなく、その前の時間までも同じような活動を行う。ミニ発表会を繰り返していく中で、子どもたち自身が本当に伝えるべき内容を考えはじめ、お互いに質の高いアドバイスをしたり、価値のある情報を選んだりして、さらなる探求が促されることを目指している。

タブレットコンピュータという新しいICTを活用した授業であるが、授業者がメディアの特性をきちんと見通して授業を組み立てていくことで、情報活用の実践力を子どもたちが身につけられるようにしたいと考えている。

7. 活動計画（15時間）

学習課程	次	時	主な学習活動	・指導上の留意点	使用する ICT 及びねらい
課題のほりおこし	1	1	<p>(総合)「ぼんぼこ太鼓 伝達講習会」 をもとに</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">日本の伝統文化について知りたいことを出し合おう</div> <ul style="list-style-type: none"> 日本の伝統文化(伝統芸能)にはどんなものがあるのか出し合おう。 体験学習の内容(琴、三味線、尺八、長唄、日本舞踊)について、歴史、道具の名前、由来、地域性など知りたいことを出し合おう。 学習の計画を立てよう 	<ul style="list-style-type: none"> ○11月17日と18日にゲストティーチャーを迎え、体験学習をすることを伝える。 ○今後は、体験学習の内容(琴、三味線、尺八、長唄、日本舞踊)に焦点を当てて調べていくことを伝える。 ○クラスを解体し、テーマ別で調べ学習を進めていくことを伝える。 ○今後の学習の流れについて見通しをもてるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教材提示装置 ○50 インチTV
	2	2 3	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">日本の伝統文化(琴、三味線、尺八、長唄、日本舞踊)について知りたいことを決めよう</div> <ul style="list-style-type: none"> 体験学習の内容に沿って、調べることを決めよう 「琴の歴史について調べたいな。」 「どんな踊りがあるのか見てみたい。」 「図書資料で調べてみよう。」 「タブレットPCで調べてみよう。」 「コンピュータでまとめていこう。」 「模造紙でまとめていこう。」 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校公開日(11/19)に保護者と友だちに体験学習で学んだことや自分で調べたことを伝えることを知らせ、意欲づけを図る。 ○児童が興味を持ったことをもとに大きくグループ(琴、三味線、尺八、長唄、日本舞踊)に分ける。 ○知りたくなったことを自由に出し合い、それをもとに次時の小グループを編成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教材提示装置 ○50 インチTV
課題追究	3	4 5 6 ⑦ (本時)	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">知りたいことを調べたり、教えてもらいたいことを決めたりしよう</div> <ul style="list-style-type: none"> 自分の課題について工夫して調べてみよう。 講師の先生に教えてもらいたいことを考えよう。 調べたことを整理しわかりやすくまとめてみよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○同じグループ(琴、三味線、尺八、長唄、日本舞踊)の中で、さらに興味・関心に応じて小さいグループ(4～5人程度)に分かれるようにする。 ○図書資料やタブレットPCを準備して、調べ学習を支援する。 ○タブレットPCは、予めいくつかのサイトを登録しておき、それらのサイトから調べ学習を進められるようにしておく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○タブレットPC ○図書資料 ○教材提示装置 ○50 インチTV

学習 課程	次	時	主な学習活動	・指導上の留意点	使用する ICT 及びねらい
課題 追究	3		日本の伝統文化を体験しよう (11/17, 18) (琴、三味線、尺八、長唄、 日本舞踊)	<ul style="list-style-type: none"> ○講師の先生に模範演奏・演技をしていただく。その後、実際に体験する。 ○次の日の実技発表に備えて練習する。 ○講師の先生の指導・支援を受けながら発表する。 ○保護者にも感想などをインタビューしてみるように伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ビデオ ○タブレットPC ○ビデオ ○タブレットPC
		<ul style="list-style-type: none"> ・講師の先生といっしょに体験しよう。 ・前もって考えておいた質問をしてみよう。 			
課題 の まとめ	4	8 9 10 11	(11/17) (ふれる、練習する) 「思っていたより難しいな。」 「琴の歴史について質問します。」 (11/18) (体験学習発表会) 「なんとか曲になってきたぞ。」 「先生のおかげで発表できました。」 「家の人に聞いてみよう。」		
		12 13	日本の伝統文化を伝えよう ・調べたことに、体験したことやアドバイスしてもらったこと、講師の先生に教わったことなどを加え、わかりやすく伝えられるように工夫しよう。	<ul style="list-style-type: none"> ○体験学習発表会に来なかった保護者にも伝わる発表になるように支援・助言する。 ○わかりやすい発表になっているか確かめ、意見や感想を学習カードに書くように伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ○コンピュータ ○ビデオ ○タブレットPC
14 15	学校公開日(11/19)に 発表会をしよう ・友だちや家の人たちに自分たちが調べて体験した日本の伝統文化を伝えよう。	<ul style="list-style-type: none"> ○小グループ(4~5人)単位で教室の前で発表する。一つの教室をいろいろなジャンルのグループで構成することで、発表しない時は他のジャンルの発表を聞くことができるようにする。 ○発表の後に感想交流の時間をとり、今回の学習について保護者に感想や意見を聞くようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○コンピュータ ○ビデオ ○教材提示装置 ○50 インチTV 		

8. 本時の展開 (本時 7 / 16)

(1) 目標 日本の伝統文化について調べたことを整理し、アドバイスをしあいながら、わかりやすく伝えられるようにする。

(2) 展開

学習活動	指導上の留意点 【評価】〈観点〉(評価方法)
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;"> ・日本の伝統文化について調べたことを整理し、アドバイスをしあいながら、 分かりやすく伝えられるようにしよう </p> <p>1. 今日の活動の確認をする。</p> <p>2. 今まで調べてきたことを整理してまとめる。 ・タブレット PC を使って、50 インチ TV で発表する。 ・画用紙や模造紙に写真を貼ったり説明を書いたりして発表する。 ・コンピュータでまとめて、50 インチ TV で発表する</p> <p>3. ある程度整理ができて、まとまったグループは、クラス内でミニ発表をし、互いに意見を出し合う。</p> <p>4. 全体で今日の活動について感想や意見を出し合う。 ・「〇〇さんのアドバイスで工夫するところが見つかりました。」 ・「〇〇さんの説明が分かりやすく、わたしも同じようにやってみようと思いました。」</p> <p>5. 今日の学習を振り返り、学習カードに記入する。</p>	<p>○今までに集めた資料を整理し、わかりやすく伝えられるようにしていくことを確認する。</p> <p>○一人一人がタブレット PC を使って調べてきたことを、互いに確認し合う。</p> <p>○互いにタブレットを見合い、相談しながら、わかりやすく伝えられるように情報を整理していくように伝える。</p> <p>○発表に使用するページが決まったら、それをタブレット PC に登録しておくようにする。発表の際は、その画面を 50 インチ TV に拡大表示して説明する。</p> <p>○調べてみたがよくわからなかったことは、講師の先生への質問事項にすることを伝える。</p> <p>○まとめの活動が終わっていない児童も中断させて発表を聞くように伝える。</p> <p>○発表者は、友だちの意見を聞き終わったら、良かった点や改善点をカードに記録し、今後の学習を進める上でのヒントにするよう伝える。</p> <p>○たがいにアドバイスをして、改善する点を意識して整理するよう助言する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 20px;"> <p>【調べたことや集めた資料をもとにアドバイスをしあいながら、わかりやすく伝えられるように活動しているか。】 〈まとめ・表現する力〉 (行動観察、発表、学習カード)</p> </div>